

令和7年3月19日

岐阜県DX推進コンソーシアム 令和6年度第1回総会

1. 総会に付議すべき事項

第1号議案 令和6年度事業報告（案）について

第2号議案 令和6年度収支決算見込（案）について

第3号議案 令和7年度事業計画（案）について

第4号議案 令和7年度収支予算書（案）について

第 1 号議案

2	<p>7月2日 (主催) リアル (共催) 岐阜県図書館 【会場】 岐阜県図書館</p>	<p>生成 AI ワークショップ 9者10名参加 (会員限定) 「ハンズオンで学ぶ生成 AI 活用」 ～クラウド実行環境とノーコード AI 開発環境の活用～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模言語モデルの基礎、ビジネス活用、利用 ・LLM API の利用 ・ハンズオンに向けて ・演習：Google Colaboratory 編、Dify 編 <p>講師：株式会社リーサ 代表取締役／株式会社インテック 技術顧問 高城 勝信氏</p>
3	<p>第1回： 7月23日 第2回： 10月29日 (主催) リアル+オンライン</p>	<p>デジタルインボイス活用促進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 7/23 (出席者 19名／ライブ視聴者 19名)、第2回 10/29 (出席者 17名／ライブ視聴者 17名) ・委員 岐阜商工会議所 中小企業相談所長 鬼頭 貴士 岐阜県商工会連合会 広域推進課 課長 横山 建人 岐阜県中小企業団体中央会 専務理事 川本 敏 株式会社インフォファーム DX事業部 システムソリューション営業部 シニアエキスパート 増田 信政 税理士法人長尾会計 代表社員 長尾 博 株式会社十六銀行 DX部 ビジネスデザイングループ 課長 小林 雅樹 株式会社大垣共立銀行 IT 統轄部 課長 箕浦 信 ・アドバイザー等 デジタル庁 国民向けサービスグループ 企画官 加藤 博之 経済産業省中部経済産業局 地域経済部 情報政策室 室長補佐 松永 亮 岐阜県 商工労働部 産業デジタル推進課長 千田 友清 一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク 企画部長 千葉 勇一 株式会社TKC 企業情報営業本部 デジタルインボイス推進部長 伊藤 栄芝 弥生株式会社 経営企画本部 政策渉外部 担当マネージャー 岡部 毅 株式会社野村総合研究所 フェロー 梅屋 真一郎 ・デジタルインボイス連携基盤 (岐阜モデル) 改修事業補助金 補助事業者 株式会社ミライコミュニケーションネットワーク 内部監査部 マネージャー 上野 麻記子
4	<p>10月2日 (協力) リアル+オンライン 【会場】 テクノプラザ4F ホワイエ サテライト会場： コラボソビア</p>	<p>2024 ぎふ ものづくり×DXフェス 「DXミニEXPO」 67名参加 ◇中小ものづくり企業のロボット・DX導入事例紹介 株式会社有川製作所 有川 富貴氏 株式会社スザキ工業所 鷺崎 圭一郎氏 光洋陶器株式会社 加藤 伸治氏 株式会社田口鉄工所 田口 頼之氏 ◇ものづくり太郎氏 スペシャル講演 ものづくり系 YouTuber ものづくり太郎氏</p>

第 1 号議案

4		<p>◇パネルディスカッション</p> <p style="text-align: right;">ものづくり系 YouTuber ものづくり太郎氏 ものづくり系ブロガー しぶちょー氏 ヒューマテックジャパン株式会社 永井 伸幸氏 株式会社有川製作所 有川 富貴氏 光洋陶器株式会社 加藤 伸治氏</p>
5	<p>11月5日 (主催) リアル+オンライン 【会場】 ソフピアジャパン 11F 研修室 1</p>	<p>PeppoLink 利用説明会 18者 28名参加 (内会員 17者 23名) ◇デジタルインボイス、ペポルについて 岐阜県 DX 推進コンソーシアム 尾崎センター長 ◇ペポリンクの案内・紹介・デモ 株式会社ミライコミュニケーションネットワーク 上野 麻記子氏 ◇ペポリンクへの期待 株式会社田中工業所 田中 祐子氏</p>
6	<p>12月11日 (主催) リアル+オンライン (共催：岐阜県産業技術総合支援センター) 【会場】 ソフピアジャパン 10F 大会議室</p>	<p>令和6年度第2回講演会 85者 107名参加 (内会員 50者 63名) 「データ活用が拓く新たな企業価値」 ◇第1部 IPAによる「DX動向2024」解説 「DX動向2024からみた日本のDXの実態と求められる取組」 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 河野 浩二氏 ◇第2部 データ活用先進企業による事例紹介 1) AI×データで新たな価値を創出する 株式会社 Zepto AI 山路 隆ノ介氏 株式会社 STAR UP 緒方 勇斗氏 2) NKS 全体最適化 ～入り口から出口まで～ 協和工業株式会社 鬼頭 祐二氏</p>
7	<p>12月16日 (共催)リアル (岐阜大学人工知能研究推進センター、岐阜県産業技術総合センター等) 【会場】 岐阜県産業技術総合センター</p>	<p>岐阜県次世代企業技術者育成事業 14者 21名参加(内会員 6者 11名) 「今からでも遅くない！生成AI講習会」</p> <p>◇生成AIの概要 ◇生成AIの活用事例紹介 ◇業務での活用演習 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース教授/ 人工知能研究推進センター センター長 加藤 邦人教授</p>
8	<p>12月24日・25日 (共催)リアル (岐阜大学人工知能研究推進センター、岐阜県産業技術総合センター等) 【会場】 じゅうろくプラザ</p>	<p>岐阜県次世代企業技術者育成事業 17者 21名参加(内会員 9者 11名) 「データサイエンス講習会」 【1日目】 ◇機械学習の紹介 ◇解析ツールの使い方とPython入門(演習) ◇データ解析のための基本操作(演習) 【2日目】 ◇機械学習演習(講義と演習) ◇前処理(演習) ◇機械学習実践(演習) 国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース 鈴木 優 准教授・原 武史 教授</p>

第 1 号議案

2	<p>【予定】 3月19日 <small>(主催)</small> 【会場】 ソフトピアジャパン 1F セミナーホール</p>	<p>岐阜県DX推進コンソーシアム令和6年度総会 会員総数(令和7年2月14日現在) 339</p>
---	---	--

4 広報事業

毎月1回の定例メールマガジンを配信するとともに、ダイナミックに臨時便として随時メールマガジンを配信し、積極的に活動の広報を実施した。

<p>令和6年4月 から 令和7年3月</p>	<p>メールマガジンの配信 毎月1回(原則第2営業日) + 臨時号 合計19回配信(予定含)</p>
<p>令和6年 10月2日</p>	<p>2024 ぎふ ものづくり×DX フェス「DXミニEXPO」出展(再掲) 会場: テクノプラザ本館ホワイエ</p>
<p>令和6年 10月25, 26日</p>	<p>ものづくり岐阜テクノフェア 2024 出展 会場: 岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム</p>
<p>令和6年 11月14日</p>	<p>清流の国ぎふ文化祭 2024 DX推進フォーラム出展 会場: 岐阜県庁 ミナモホール ホワイエ</p>
<p>令和6年11月 から 令和6年12月</p>	<p>会員企業のDXに対する取組状況を把握するためのアンケート調査 (有効回答数 172)</p>
<p>令和7年 2月13, 14日</p>	<p>ソフトピアメッセ 2025 出展 会場: ソフトピアジャパン センタービル 3階ソピアホール</p>

【活動支援事業】

1 ワーキンググループ活動の支援

必要に応じて、打合せ会議を開催し、事業進捗を支援した。

2 ワーキンググループ等が行う研究事業・実証事業への助成事業

13のワーキンググループ(54会員)の活動、デジタルインボイス活用促進事業に対して対象経費の助成を行う予定。

※内訳

- ・ワーキンググループ事業費補助金 81,790千円(13WG: 54会員)
 うち DX推進事業 63,788千円(8WG: 37会員)
 IoT・デジタル活用事業 18,002千円(5WG: 17会員)
- ・デジタルインボイス活用促進事業補助金 27,100千円

※補助率

- ワーキンググループ事業費補助金
 - ・DX推進事業

《活動費・外注費》

補助対象経費の2分の1以内、
補助限度額：上限 10,000 千円

《調査連携費》 大学等研究機関に依頼する調査等の経費

補助対象経費の10分の10以内、
補助限度額：上限 2,500 千円

・ I o T ・ デジタル活用事業

補助対象経費の2分の1以内、
補助限度額：上限 5,000 千円

○ デジタルインボイス活用促進事業補助金

① デジタルインボイス連携基盤改修費

補助対象経費の2分の1以内、補助限度額：上限 7,000 千円

② 県財務会計システム接続環境整備

補助対象経費の10分の10以内、補助限度額：上限 1,200 千円

③ システム開発補助

補助対象経費の2分の1以内、補助限度額：上限 1,000 千円

④ デジタルインボイス連携基盤先行利用費

補助対象経費の10分の10以内、補助限度額：上限 6,600 千円

⑤ デジタルインボイス連携基盤利用促進費

⑥ インターネットバンキング利用促進費

《助成した13のワーキンググループと事業課題》

○ ワーキンググループ事業費補助金

1-8 DX 推進事業

9-13 I o T ・ デジタル活用事業

1	事業課題	「食品製造販売業界向け AI 発注予測の導入と実証検証」
	ワーキンググループ名	食品製造販売業界向け食品ロス削減推進WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)デリカサイト メンバー企業：独立行政法人国立高等専門学校機構岐阜工業高等専門学校、(株)ミライコミュニケーションネットワーク、水了軒(株)
2	事業課題	職場の働き方改革を大規模マルチモーダルAI で研究開発
	ワーキンググループ名	大規模マルチモーダルAI による働き方改革の研究開発WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)インフォファーム メンバー企業：国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学、(株)ビーアイエムシー、矢橋ホールディングス(株)、リコーエレメックス(株)、(株)LIXIL、サラヤ(株)、岡野バルブ製造(株)

第1号議案

3	事業課題	ロボットSIer DX化をめざした工程管理プラットフォームの構築
	ワーキンググループ名	ロボットSIer 業界で先進技術を活用してDX 推進を図るWG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)エヌテック メンバー企業：スターテクノ(株)、日晃オートメ(株)、(株)田口鉄工所、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学
4	事業課題	トラック荷待ちゼロアプリ「イマツム」実証試験～ 中小規模荷主企業に向けた、物流クライシスを回避する目的のアプリ機能の最適化～
	ワーキンググループ名	物流DXワーキンググループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)ZENSHIN メンバー企業：(株)ブイ・アール・テクノセンター、朝日大学、一般社団法人岐阜県トラック協会
5	事業課題	広報等の「組版」プロセスを生成AI で半自動化するソリューション研究開発
	ワーキンググループ名	生成AI 組版ソリューション研究開発WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：サンメッセ(株) メンバー企業：岐阜協立大学、大垣市、山県市、下呂印刷(株)
6	事業課題	可変型多機能 QR コードによるイベント DX
	ワーキンググループ名	QR コードを活用したイベントDX プロジェクト
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：日本イベント企画(株) メンバー企業：(株)かけはし
7	事業課題	企業の挑戦及び個人の挑戦創出を目的としたプラットフォーム構築
	ワーキンググループ名	生成系AI を活用したビジネス挑戦プラットフォームによる企業、個人価値創出WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)リリフル メンバー企業：(株)アルジェブラテクノロジーズ、(株)艶金、情報科学芸術大学院大学
8	事業課題	生成AI による経営コンサル支援基盤の構築と検証
	ワーキンググループ名	生成AI ワーキンググループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)リーサ メンバー企業：(株)インテック、(株)OKB総研、(株)グラスプアットジェアー、大垣商工会議所、情報科学芸術大学院大学

第 1 号議案

9	事業課題	検査員の眠気や居眠りを検知するAIシステムで生産性向上、再検査ロス削減
	ワーキンググループ名	AI を活用した行動検知システムの実用化WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: サイトー電子(株) メンバー企業: サイトー(株)、センシア(株)、特定非営利活動法人 地域産業支援ネットワーク
10	事業課題	デジタルインボイス活用岐阜モデルの利活用の調査・研究・実証実験
	ワーキンググループ名	デジタルインボイス利活用研究WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: グレートインフォメーションネットワーク(株) メンバー企業: 特定非営利活動法人 大垣観光協会、船町湊 まちづくり(株)、(株)ミライコミュニケーションネットワ ーク
11	事業課題	機械学習の活用によるサプライチェーン最適化と原価低減の 推進
	ワーキンググループ名	DX 推進による業務改善及びAI の実用性検証WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: (株)大野ナイフ製作所 メンバー企業: (株)ユニフェイス、(株)オフィスむしか
12	事業課題	紡績業界の生産性の向上、標準化を目指したDX の取組
	ワーキンググループ名	紡績業界でDX を活用してプラットフォーム構築に取り組む WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: 長谷虎紡績(株) メンバー企業: (株)長谷虎リネンサービス、(株)ファーベスト、岐 阜県毛織工業協同組合
13	事業課題	生産により排出する CO2 量を表示できる AI 見積りシステ ムを開発する。 ～ AI 見積りシステムで人手不足解消と環境対策を実現～
	ワーキンググループ名	カーボンニュートラルを見据えたAI 見積りシステムの開発WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: (株)樋口製作所 メンバー企業: (株)日本ビジネスデータプロセッシングセンター

※年度当初は 14 の WG を採択したが 1 WG の辞退届が提出された。

第1号議案

3 ワーキンググループの活動助成金交付事業 2件 130千円補助（予定）

1	活動内容	実施日:令和6年11月22日 プロトタイピング実践例紹介(Figmaを使ったモバイルアプリ・サービス編)
	ワーキンググループ名	プロトタイピング研究会WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:(有)トリガーデバイス メンバー企業:(株)グラスプアット ジェアー、(株)リーサ
2	活動内容	実施日:令和6年2月25日(予定) 「上流から下流まで 生成AIが変革するシステム開発」オンラインセミナー
	ワーキンググループ名	プロトタイピング研究会WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業:(有)トリガーデバイス メンバー企業:(株)グラスプアット ジェアー、(株)リーサ

令和6年度収支決算見込(案)

収入の部

単位：円

科 目	当初予算額	決算額(見込)	備 考
会費収入	2,350,000	2,310,000	年会費：10,000円×231社
負担金	118,700,000	109,780,000	ソフトピアジャパン事業費補助金、 デジタルインボイス活用促進事業、 ワーキンググループ活動助成事業 ワーキンググループ事業費補助事業
雑収入	0	276	預金利息
合計	121,050,000	112,090,276	

支出の部

科 目	当初予算額	決算額(見込)	備 考
運営事業費	121,050,000	105,635,828	
普及啓発事業	8,250,000	6,885,828	講演会・セミナー、研修会、研究会、 交流会、会員間の連携事業、広 報事業等
活動支援事業	112,800,000	98,750,000	ワーキンググループ事業費補助金 デジタルインボイス活用促進事業 ワーキンググループ活動助成金
余剰(返還)額	0	6,454,448	(公財) ソフトピアジャパンへ返還
合計	121,050,000	112,090,276	

余剰(返還)額の主な内訳	科目	見込み金額	適用
	活動支援事業	5,130,000	デジタルインボイス活用促進事業、WG活動 助成金他
	普及啓発事業等	1,324,448	

令和7年度事業計画（案）

【普及啓発事業】

- 1 講演会・セミナー、研修会等の開催
A I等を活用したD Xの推進、生産性向上や技術開発、新商品・新サービス創出の実現をテーマに講演会・セミナーを年2回程度、研修会等を年2回程度開催する。
- 2 先進事例調査
A I、I o T、データ分析、ロボット等によりD Xの実現に取り組むユニークな企業または先進的な企業や施設等の見学を年3回程度実施する。
- 3 会員間の連携やマッチングの支援
 - ・ワーキンググループ事業費補助金の成果報告会を実施し、D X実現に向けた実証事業の事例発表や意見交換会を実施する。
 - ・会員企業間、大学や学術機関との連携を活発化させるための各種相談に随時対応する。
- 4 広報事業他
 - ・メールマガジンを配信しD X推進コンソーシアムの取り組みを会員に提供し、会員相互の情報共有を図る。
 - ・他団体と連携しD Xの推進と実現に向けた普及啓発を図る。
 - ・会員企業のD Xに対する取り組み状況を把握するため、アンケート調査を行う。
 - ・会員からの要望に従い、個別の相談に対応しデジタル化等による課題解決を支援する。
 - ・「デジタルインボイス活用促進協議会」を開催し、デジタルインボイスの啓発促進等を行う。

【活動支援事業】

- 1 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業
 - ◆ワーキンググループ事業費補助金
 - ・A I等を活用したD Xの推進・生産性向上等を実現するため、コンソーシアム会員による複数企業等で構成されるワーキンググループの活動に対して導入・実証、研究、開発経費等に対して助成する。
 - 【補助限度額・補助率】
 - ① D X推進事業（補助対象経費の1/2以内 上限10,000千円、WG内の大学へは別途 補助率10/10 上限2,500千円）
 - ② デジタル活用事業（補助対象経費の1/2以内 上限5,000千円）WG内の大学へは別途 補助率10/10 上限1,250千円）
- 2 ワーキンググループの活動支援
 - ・A Iやローコード活用、産学官連携による地域の課題解決等新しい動きに取り組む会員企業で構成されるワーキンググループが実施する勉強会・研修会・展示会出展等広報活動等の費用の一部を助成する（最大10万円/回）。

令和7年度収支予算書(案)

収入の部

単位：千円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
会費収入	2,290	2,350	年会費：10,000円×229社
負担金	91,600	118,700	ソフトピアジャパン事業費補助金
雑収入	0	0	
合計	93,890	121,050	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
運営事業費	93,890	121,050	
普及啓発事業	8,190	8,250	講演会・セミナー、研修会、交流会、会員間の連携事業、広報事業等
活動支援事業	85,700	112,800	ワーキンググループ事業費補助、ワーキンググループ活動助成事業
合計	93,890	121,050	